

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 9 月 24 日
留学先大学（日本語名） / 留学先国	カリフォルニア大学バークレー校 / アメリカ合衆国
現地主要使用言語 / 授業使用言語	英語 / 英語
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科マーケティング専攻
留学へ出発した時の学年	3 年生
留学期間	2026 年 5 月～2026 年 8 月

渡航準備・事前手続き

1) ビザ申請について	
ビザの種類： F1	
ビザ申請時期： ☒ 日本国内 ☐ 現地到着後	
ビザ取得所要日数（申請してから何日 / 何週間要したか）： 約 2 週間	
具体的な手続き（必要書類・手続き手順等）： オンラインで様々な手続きを行ってから大使館でビザ面接を行う。 必要書類には留学先大学の入学許可証や、残高証明書が必要でした。	
困った点： ビザ面接の予約が埋まっていた、出発ぎりぎりになってしまった点。	
2) 留学先大学到着までの流れ	
渡航経路 記入例：羽田ードバイ（経由）-マンチェスター	往路：成田ーサンノゼ 復路：サンフランシスコー成田
キャンパスへの移動手段	☐ 大学手配の送迎車 ☐ 公共交通機関（バス） ☐ 公共交通機関（電車） ☒ タクシー ☐ その他（ ）
3) 留学前にやっておいて良かったこと、やっておくべきだったこと。留学に向けてどのように情報収集をしたか。	
やって置いて良かったことは単語の勉強で、やっておくべきだったことはリスニングです。初めのほうは聞くので精一杯でした。留学の情報収集は去年同大学に留学した先輩に聞きました。	
4) 日本から持っていくべきもの、持っていけば良かったもの。	
シャンプーは持って行った方がいいです。その他カップラーメン等の食料は必要に応じて持っていけば良いと思います。	

現地生活

1) 滞在先について

滞在先の種類	☒ 学生寮（寮の名前：International house） ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他
部屋の形態	☐ 個室 ☒ 相部屋（同居人数 2 人）
共用部分	☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン（ ☐ 自炊可 ☒ 自炊不可）
滞在先を探した方法	☒ 留学先大学による仲介・紹介 ☐ 自分で探した ☐ その他（ ）
滞在先を手配した時期	3 月頃
滞在先の感想とこれから留学する人へのアドバイス	雰囲気がとてもよく、いろいろな人と関わって居心地が良かったです。アドバイスとしては待ちの姿勢ではなく、自分からいった方がいいです。

2) 生活インフラについて

スマホの契約について	☐ 現地で SIM/eSIM カードを購入 ☐ 日本で現地の SIM/eSIM カードを購入 ☒ 日本で使用しているキャリアの海外プランを使用 ☐ その他（ ）
銀行口座開設有無	☐ 開設した（銀行名 ） ☒ 開設してない
支払い方法	☒ 現金 ☒ クレジットカード ☒ デビットカード ☐ QR コード決済 ☐ その他（ ）

3) 留学期間中に体調不良になった際、どのように対処しましたか？また、大変だったことはありましたか？

☒ 日本から持って行った薬を飲んだ ☐ 現地の薬局で薬を購入して飲んだ ☐ 学内の診療所を受診 ☐ 学外の病院を受診
--

大変だったこと：特になかったです。

4) 留学期間中、学内外で問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

（例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）

☒ なし ☐ あり（問題の内容や相談した人等： ）

5) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。

また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

現地の危険情報については、大学から連絡がくるので、その時はなるべく外に出歩かないようにしていました。実際に犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

学校生活

1) 留学生用オリエンテーションと授業開始日について

留学生用オリエンテーションの実施有無	☐ あり（日程： ） ☒ なし
授業開始日	5月25日

2) 履修登録について

登録時期	☒ 出発前（2月23日頃） ☐ 現地到着後（ ）月（ ）日頃
登録方法	大学のマイページから授業を選択して登録
留学生として優先されましたか？	履修登録が通常よりも早くさせてもらえました
留学生として履修に関する制限はありましたか？	特にありませんでした
履修登録後に、科目の変更・追加・取り消しはできましたか？	できました。それぞれセッションごとに履修変更の期日がありました。

3) 履修単位数/単位認定について

履修登録した単位数	1学期目：10 2学期目：
本学での単位認定予定	☒ 単位認定をする予定 ☐ 単位認定をしない予定（理由： ）

4) 履修した科目の情報について例に倣って記入してください。

科目名	履修時期	授業時間数	現地修得単位数
例：Marketing	1学期目	60分×週3回	10

※入力欄が足りない方は以下に入力してください。

5) 授業に関する感想（今後留学予定の学生へアドバイスも含めて）

授業は最初がついていくことで必死でした。予習、復習もほぼ必須の状態でしたが、教授はみな優しいので助けてくれました。だんだんと英語も聞き取れるようになるので、はじめはとてつらいと思うが、諦めないで食らいつくことが大切です。

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (\$) (現地通貨 = 160 円)	B 日本円	備考
授業料 (授業料負担型のみ)	7,305.84	1,168,934 円	
宿舍費	6,838.80	1,094,208 円	
食費	625	100,000 円	
教材費	50	8,000 円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費	28	4,480 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
娯楽費	625	100,000 円	
旅費 (留学中)	1,250	200,000 円	
医療費		円	
現地保険料 (明治大学指定の 海外旅行保険料は除く)		円	
ビザ申請費用			
渡航費	623	99,680 円	
その他/雑費	625	100,000 円	お土産等
合計 ※現地通貨 および 円	17,970.64 (= 2,875,302 円)	2,875,302 円	
総計 (A+B) ※円	5,750,604 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

※ 数字は半角で入力してください。例) 520,000

留学中の就職活動

1) 留学中に就職活動はしましたか？ ※「はい」と回答した方は 2)以降も回答してください。

☒ はい ☐ いいえ

2) 活用したツール（WEB サイト、書籍、機関、団体など）、参加した就活イベント

自作したツールを活用しました。オープンカンパニーやインターンに少しばかり参加しました。

3) 留学中の就職活動において苦労したこと、うまくいったこと、感想、アドバイス

現地での授業が大変だったので、正直あまり就職活動に時間はさけませんでした。時差もまた大きな問題でした。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

（例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等）

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	GPA を上げるための学習
	8 月 ～ 9 月	TOEIC 取得
	10 月 ～ 12 月	応募、合格
留学開始年	1 月 ～ 3 月	履修登録、英語学習
	4 月 ～ 7 月	ビザの取得、手続き、留学開始、就活
	8 月 ～ 9 月	留学終了、就活
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

統括・アドバイス

「自身の留学先大学、国を選んだ理由」

自分の専攻分野であるマーケティングを世界トップレベルで学びたいと考えました。トップユニバーシティとしてとても有名大学だったので、そんな大学でたくさん刺激をもらいたいと思いました。世界の中心であるアメリカを学生のうちに自分の目で見てみたかった思いもあります。また、カリフォルニア州という多様性を重視する環境で色々な人と関わりたいと考えたためです。

「留學生活全般についての感想」

留學生活全般を通して、とても充実していました。初めは辛かったですが、たくさん友達を作っていく中でそれが自信に変わっていき、充実していきました。メリハリを大事にして、遊ぶときは思いっきり遊び、勉強するときは真面目にやるようにしていました。現地で知り合った人と、旅行に行くなどして外に遊びに行ったりしました。

留學を検討している学生へのアドバイスやメッセージ

留學はもちろん楽しいが、その分とても大変です。私は英語能力が欠如していたため、とてもつらい思いをしました。自分は留學での1番の成果は人脈だと思います。自分の専攻分野を世界のトップユニバーシティで学ぶことができたのはとても良い経験であるが、それ以上に世界各国に友達を、人脈を作ること是一生の財産になると思います。優秀な世界各国の学生にとっても刺激をもらいました。この刺激は就活中の私にとってとても良い影響を与えてくれました。留學を検討している学生は、恐れずにチャレンジする価値しかないと思います。行かせてもらえる環境にも感謝しないといけません。